

蓼池地区の汚水処理整備の方向性について

三股町では、蓼池地区の汚水処理の整備方式について検討しているところですが、検討資料のひとつとして令和3年9月、蓼池地区、三原地区、前目地区へ「下水道整備予定区域の見直しに関するアンケート」を全戸(約1500戸)配布し、住民の意見聴取を行いました。その結果をお知らせするとともに、さまざまな観点から三股町公共下水道事業運営審議会で検討しました結果を町民のみなさまへお知らせいたします。

■ 蓼池地区における公共下水道のアンケート調査(R3.9 実施)

調査方法

- 調査対象世帯: 現行下水道全体計画における蓼池分区内の一般世帯
- 配布方法: 三股町職員が各戸の郵便ポストに投函
- 回収方法: アンケート調査資料に同封した返信用封筒を郵便ポストに投函
- 配布数、回収数、回収率
 - ・ 配布数: 1,484 通
 - ・ 回収数: 518 通 > 必要回収数 305 通(必要回収数は統計学的に算定した値)
 - ・ 回収率: 35%

1-1. アンケート調査結果

蓼池地区の皆様から頂きました回答結果に基づき、現況の処理形態別(合併処理浄化槽、単独処理浄化槽、汲み取り)、地区別、世帯年齢別に下水道希望・不要の割合を整理しました。

1-1-1. 現在の処理形態別の下水道希望・不要の割合

現在の処理形態別の下水道既望・不要の集計結果は、次に示すとおりです。

- 合併処理浄化槽を利用している世帯では、下水道不要の割合が高い
- 単独浄化槽及び汲み取りの世帯では、下水道希望の割合が高い
- 全体では、わずかに下水道不要の割合が高い

表 1 下水道希望・不要の集計(現状の処理形態別)

質問6 現況:合併浄化槽			質問7 現況:単独浄化槽/不明			質問8 現況:汲み取り			合計		
回答内容	回答数	割合	回答内容	回答数	割合	回答内容	回答数	割合	回答内容	回答数	割合
下水道希望	127	41%	下水道希望	73	39%	下水道希望	6	55%	下水道希望	206	41%
下水道不要	153	49%	下水道不要(合併移行)	7	4%	下水道不要(合併)	0	0%	下水道不要	213	42%
不明(借家)	26	8%	下水道不要(現況維持)	50	27%	下水道不要(汲み取り)	3	27%	不明	73	14%
未回答	5	2%	不明(処理方法)	17	9%	不明(借家)	1	9%	未回答	15	3%
			不明(借家)	29	16%	未回答	1	9%			
			未回答	9	5%			0%			
計	311	100%	計	185	100%	計	11	100%	計	507	100%

注1.「不明(借家)」は「借家等のため自分では決められない」、「不明(処理方法)」は「自宅の処理方法が不明なため今後のことも分からない」を示す。

注2. 回収数は518だが、質問5(現在の処理方式)が未記入である11を対象外としたため、本表の合計は507となる。

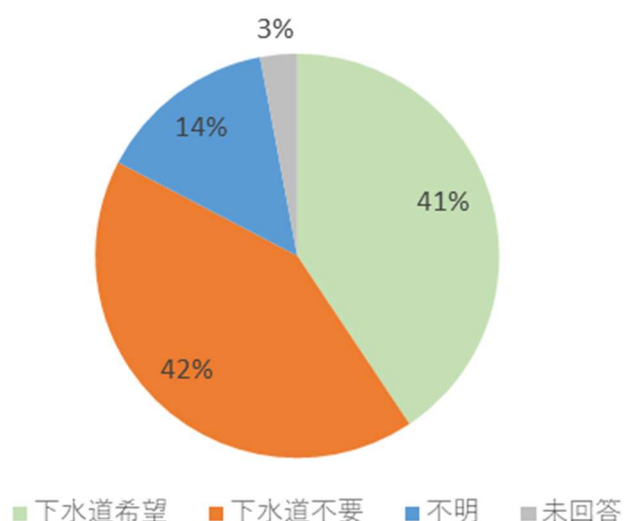


図 1 下水道希望・不要の割合(現状の処理形態別)

1-1-2. 地区別の下水道希望・不要の割合

地区別の下水道希望・不要の集計結果は次に示すとおりです。

- いずれの地区でも下水道希望割合は 50% 以下
- 地区別にみると前目地区 38%、蓼池 39%、三原地区 49%

表 2 下水道希望・不要の集計(地区別)

回答内容	前目地区		蓼池地区		三原地区		未回答		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
下水道希望	43	38%	109	39%	43	49%	11	42%	206	41%
下水道不要	49	44%	124	44%	28	32%	12	46%	213	42%
不明(分からない)	16	14%	40	14%	14	16%	3	12%	73	14%
未回答	4	4%	8	3%	3	3%	0	0%	15	3%
計	112	100%	281	100%	88	100%	26	100%	507	100%

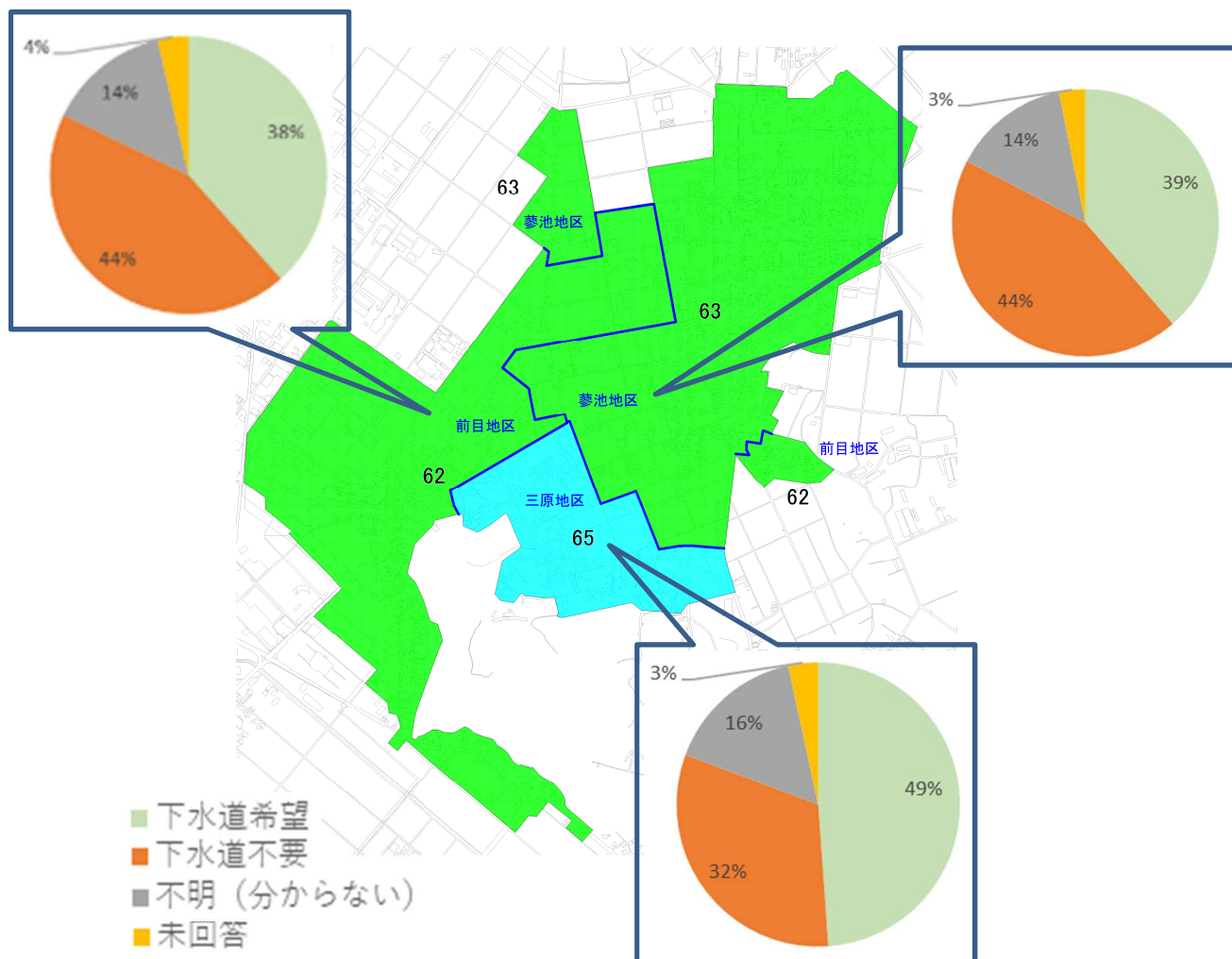


図 2 下水道希望・不要の割合(地区別)

1-1-3. 世帯年齢別の下水道希望・不要の割合

世帯年齢別の下水道希望状況を把握するため、60 歳未満を含む世帯と 60 歳以上のみの世帯に分けて集計した下水道希望・不要の集計結果は、次に示すとおりです(現況の処理形態が未回答の 11 通及び年齢が未回答の 2 通を除く 505 通を対象)。

- 60 歳未満を含む世帯での下水道希望は 38%
- 60 歳以上のみの世帯での下水道希望は 45%であり、60 歳未満を含む世帯よりも下水道希望率が高い

表 3 下水道希望・不要の集計(60歳未満を含む世帯)

質問6 現況:合併浄化槽			質問7 現況:単独浄化槽/不明			質問8 現況:汲み取り			合計		
回答内容	回答数	割合	回答内容	回答数	割合	回答内容	回答数	割合	回答内容	回答数	割合
下水道希望	77	40%	下水道希望	36	34%	下水道希望	2	40%	下水道希望	115	38%
下水道不要	94	49%	下水道不要(合併移行)	3	3%	下水道不要(合併)	0	0%	下水道不要	125	41%
不明(借家)	21	11%	下水道不要(現況維持)	26	24%	下水道不要(汲み取り)	2	40%	不明	60	20%
未回答	1	1%	不明(処理方法)	13	12%	不明(借家)	1	20%	未回答	5	2%
			不明(借家)	25	23%	未回答	0	0%			
			未回答	4	4%			0%			
計	193	100%	計	107	100%	計	5	100%	計	305	100%

注1.「不明(借家)」は「借家等のため自分では決められない」、「不明(処理方法)」は「自宅の処理方法が不明なため今後のことも分からない」を示す。

表 4 下水道希望・不要の集計(60歳以上のみの世帯)

質問6 現況:合併浄化槽			質問7 現況:単独浄化槽/不明			質問8 現況:汲み取り			合計		
回答内容	回答数	割合	回答内容	回答数	割合	回答内容	回答数	割合	回答内容	回答数	割合
下水道希望	48	41%	下水道希望	37	47%	下水道希望	4	67%	下水道希望	89	45%
下水道不要	59	51%	下水道不要(合併移行)	4	5%	下水道不要(合併)	0	0%	下水道不要	88	44%
不明(借家)	5	4%	下水道不要(現況維持)	24	31%	下水道不要(汲み取り)	1	17%	不明	13	7%
未回答	4	3%	不明(処理方法)	4	5%	不明(借家)	0	0%	未回答	10	5%
			不明(借家)	4	5%	未回答	1	17%			
			未回答	5	6%			0%			
計	116	100%	計	78	100%	計	6	100%	計	200	100%

注1.「不明(借家)」は「借家等のため自分では決められない」、「不明(処理方法)」は「自宅の処理方法が不明なため今後のことも分からない」を示す。

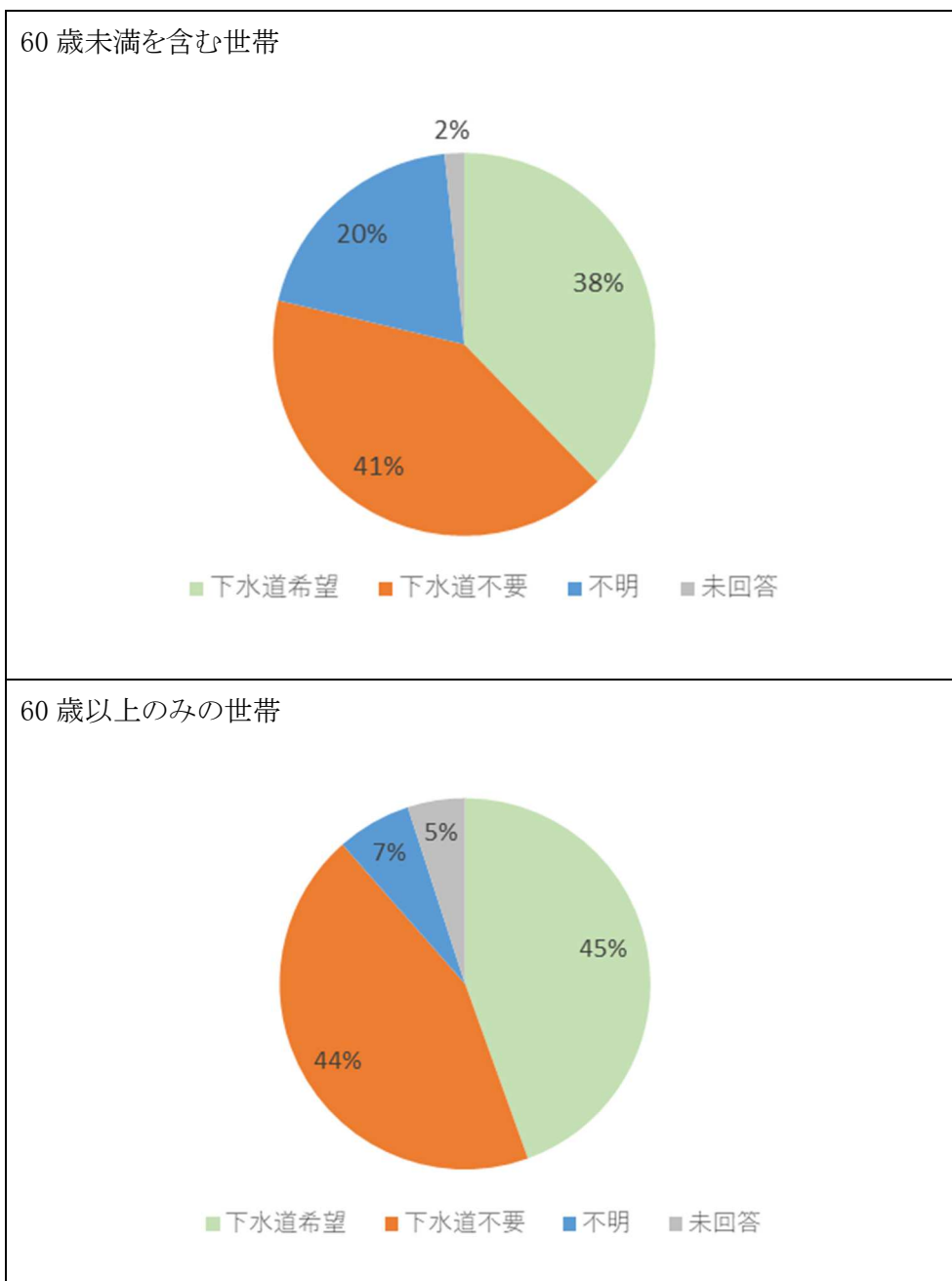


図 3 世帯年齢別下水道希望割合

■ 公共下水道住民アンケート以外の検討について

(1) 経済性の比較……将来的(令和 32 年度)な人口減少を考慮しつつ、建設費用、維持管理費等を検討

・蓼池地区の全区域を三股町公共下水道区域とした場合、一部を他の方法で汚水処理した場合、また、すべてを合併処理浄化槽で整備した場合など 6 つのケースで比較を行いました。汚水処理にかかる総費用や、他会計への依存度など総合的に判断し、経済性による

比較では合併処理浄化槽が有利となる結果となりました。

⇒合併処理浄化槽が望ましい

(2)整備時期、期間を想定し考慮……近年の下水道管の整備量からみた蓼池分区の整備着手及び完了時期(着手:令和 15 年度、完了:令和 32 年度)を考慮

・近 5 ヶ年の平均的な公共下水道整備状況から見ますと、予測される蓼池分区の整備開始は令和 15 年度と整備着手時期が 10 数年先となります。また、蓼池分区の整備完了までにはさらに 20 年近くかかり、令和 32 年度となる見込みです。

・現存する単独処理浄化槽は、平成 12 年度設置(平成 13 年度以降の新規の浄化槽は全て合併処理浄化槽)が直近となり、令和 15 年度時点で少なくとも 33 年が経過します。このため、単独浄化槽の更新時期を考慮すると、下水道よりも早期に整備可能な合併処理浄化槽が望ましいと考えられます。

⇒合併処理浄化槽が望ましい

(3)水質保全効果を考慮……下水道と合併処理浄化槽の水質保全効果が同等となる条件を考慮

・合併処理浄化槽の維持管理が適正に実施されれば、水質保全効果は、下水道と同等の水質が保たれる施設です。ただし、アンケート調査によれば、一部の水路において悪臭が発生している状況にあり、合併処理浄化槽の適正管理が求められています。

⇒下水道、合併処理浄化槽のいずれでもよい(ただし、合併処理浄化槽区域の適正管理が前提)

(4)地域特性を考慮……蓼池分区における合併処理浄化槽の普及率や沖水川の水質の現状を考慮

・近年、沖水川の水質環境基準はクリアされている状況にあり、合併処理浄化槽整備済み家屋における下水道への切り替えの緊急性は低く蓼池分区の合併処理浄化槽の普及率は約 78%と高い状況です。合併処理浄化槽の普及率が高い地域における下水道整備は、地域住民への二重の負担や、社会経済的にも汚水処理施設への二重の投資となる場合があります。

⇒合併処理浄化槽が望ましい

■公共下水道事業運営審議会の蓼池地区汚水処理の方向性について

公共下水道事業運営審議会では、経済性、整備時期、水質保全効果、地域特性及び地域住民の意向を総合的に判断して整備方法を検討しました。その結果、いずれのケースにも一長一短あり

ますが、合併処理浄化槽の維持管理状況の監視強化や、汲み取りや単独浄化槽から合併処理浄化槽への切替えの促進、補助金等の在り方の検討を前提に、蓼池地区については合併処理浄化槽整備区域とする方向で答申がなされました。今後、町ではこの答申をもとに三股町全体の汚水処理計画を取りまとめていくこととなります。